

スケジュール管理は
どうされていますか？



宍戸 栄徳

(香川大学大学院
地域マネジメント研究科 教授)

Harunori
Shishido

1 携帯電話が特別な物でなくなり、ほとんどの人にとって無くてはならないものになってしまいました。一方でIT時代も着実に進行し、携帯を含めてmailを受け取れないと連絡に不自由することもしばしばです。日本では携帯電話にカメラが付いたりワンセグでTVを見られたりと機能が高度化しています。

個人のスケジュール管理も手帳に手書きという伝統的な方法では何かと不便な事が多くなり、コンピュータを中心にしないといけない状況になってきています。各種の連絡がe-mailで行われています。するとスケジュールはコンピュータを通じてもたらされます。これを手帳に書き写すより、コンピュータの中で処理するのが必然の流れとなります。このような目的のためにコンピュータのアプリケーションが準備されています。わたしもいくつか試しているのですが今のところ決定版を見つけられていない状況です。

先日ソフトバンクの新型の携帯電話としてAppleのiPhone3Gが発売開始となり話題となりました。私自身は興味を持っているのですが、最近携帯電話の機種変更をしたばかりなので様子見をしているというところです。さらに付け加えるとiPhone3Gから携帯電話の機能を取り除いたようなiPod touch使用しています。iPhone3Gに注目しているのは、コンピュータ上の情報を携帯電話で処理できるのではないかと考えているからです。

2 iPod touchは名前から想像されるように、携帯型の音楽(ムービーも含む)プレイヤーの機能に、無線LANによってInternetに接続できるので、WebブラウザのSafariを使いネットサーフィンをしたり、e-mailを送受信したりできます。YouTubeに接続して動画を閲覧することも簡単にできます。超小型のコンピュータともいえる機能を持っています。ハードウェアとしての特徴は文字入力のための(ハード的な)キーボードがなく、タッチスクリーン上のソフト・キーボードを使用することです。さらに

iPhone3Gの発売に合わせてソフトウェアのアップデートをすることにより新たなアプリケーションが利用できるようになって来ています。こちらの特徴からiPod touchあるいはiPhone3GにPDA(携帯情報端末Personal Digital Assistant)としての可能性に期待しています。PDAも各種発売されていて、それぞれ自分の使い慣れたものがあると思いますが、スケジュール管理を対象として私の理想とするものを考えてみたいと思います。

3 基本的なデータはコンピュータの上で管理する。これは前述したようにe-mailのデータが中心となっているからです。コンピュータも1台ではなく複数のコンピュータを利用可能としたい。PDAにはデータを送って同期してオフラインで利用するか、通信によってコンピュータのデータをオンラインで参照できること。これらを実現する方法を考えていて、GoogleカレンダーなどのようにInternet上でWebを使ってスケジュール管理をするを検討しています。

かなり理想に近いものですが、いくつか問題を感じています。まず、セキュリティの問題です。個人情報 Internet上のサーバにおいておくことの不安。これは常につきまとう、利便性と安全面の相反する状況です。いつでも、どこでもアクセス可能なデータは厳重なセキュリティ管理が必要であることを常に忘れてはなりません。

もうひとつの問題はPDAからの情報の変更がコンピュータに反映させる方法が面倒だということです。これは、他の方法では用意に解決できているのかもしれませんが、PDAからコンピュータへの情報伝達に工夫の余地が残っています。今回は私自身が試行錯誤しているスケジュール管理について書きました。皆さんも同様の工夫をされていることと思います。ぜひ、便利な方法があれば教えていただきたいと思います。

平成20年度かがわ中小企業応援ファンド事業の採択案件が決定!

(財)かがわ産業支援財団が募集しておりました平成20年度かがわ中小企業応援ファンド事業における各支援事業については、有識者等で構成する委員会に諮ったうえ、下記のとおり採択案件を決定しました。(順不同、敬称略)

特定プロジェクト(糖質バイオ・ナノテク)支援事業

助成額等:1テーマにつき限度額1千万円/年度 助成率:2/3以内 助成期間:最長2年

糖質バイオやナノテク(微細技術)分野の先端技術シーズを活用した研究開発で、新たな事業の展開につながり、県内産業の振興に寄与するもの。

■採択6件

テーマ	事業代表者
次世代の印刷用製版開発等に向けた製版表面微細処理技術の開発	ナベプロセス株式会社 代表取締役 鍋坂 秀樹
褐藻類由来多糖を用いた新規機能性オリゴ糖の生物学的機能とその応用	宝食品株式会社 代表取締役 浅尾 正勝
AFMピンセットの開発	アオイ電子株式会社 代表取締役 大西 通義
フラーレンの抽出・分離・精製技術の開発	東洋炭素株式会社 代表取締役社長 近藤 純子
新規糖鎖ペプチドを経る糖鎖合成法とその用途開発	増田化学工業株式会社 代表取締役 増田 隆文
血中糖タンパク質の捕捉検出法の開発	プロテノバ株式会社 代表取締役 真島 英司

先端技術シーズ実用化支援事業

助成額等:1テーマにつき限度額1千万円/年度 助成率:2/3以内 助成期間:最長2年

科学技術基本法に基づき策定された科学技術基本計画が定める重点推進4分野及び推進4分野の先端技術シーズを生かした研究開発又は研究開発要素のある試作などのプロジェクトで、新たな事業の展開につながり、県内産業の振興に寄与するもの。

■採択2件

テーマ	事業代表者
下水処理場におけるCO2削減のための新型高効率脱水・ろ過装置の開発	株式会社石垣 代表取締役社長 石垣 真
組立ロボット誘導制御用レーザセンサの開発	株式会社ソアテック 代表取締役 小田 好弘

産学官共同研究開発推進事業

助成額等:1テーマにつき限度額1千万円/年度 助成率:10/10以内 助成期間:最長2年

大学や公的試験研究機関等の研究開発の成果や技術シーズ等を活かした新製品の創出や実用化を目的として、産学官による共同研究体制を構築し、研究開発又は研究開発要素のある試作などを行うプロジェクトで、新たな事業の展開につながり、県内産業の振興に寄与するもの。

■採択1件

テーマ	事業代表者
水圏環境改善のための高機能性多孔質体及び水産資源増殖システムの開発	日本興業株式会社 代表取締役社長 坂口 昌平

地域企業研究開発小規模助成事業

助成額等:1テーマにつき限度額5百万円(創業ベンチャー枠は3百万円) 助成率:2/3以内 助成期間:最長2年

うどん、オリーブ、手袋、漆器など本県の強みである地域資源を活用した新製品開発に対して助成したり、独創的な研究開発による新製品開発、経営革新計画の実施に必要な新技術開発、さらには、ベンチャー企業の立ち上げなどを支援するもの。

■採択2件

テーマ	事業代表者
お菓子に合うさめき味噌の低温乾燥及び粉末化に関する研究開発	株式会社松浦唐立軒 代表取締役 松浦 康隆
高濃度有機排水処理設備の開発	コハスジャパン株式会社 代表取締役社長 河田 憲彦

特定地場産業総合支援事業 特定地場産業プロデュース事業

助成額等:1テーマにつき限度額3百万円 助成率:2/3以内 助成期間:最長2年

特定地場産業組合等が実施する新製品のデザイン開発を支援するもの。

■採択3件

テーマ	事業代表者
ZU・BARIブランド化計画	株式会社デザイン国 代表取締役 国宗 三郎
「石のあかり」のパッケージ開発	有限会社七海屋 代表取締役 滝内 志保
「小豆島の地酒」の全国ブランド化	株式会社森國酒造 代表取締役 森國 幸広

特定地場産業総合支援事業 特定地場産業活性化対策事業

助成額等:1テーマにつき限度額3百万円 助成率:2/3以内 助成期間:最長1年

特定地場産業組合等が実施する地場産品等の新技術開発、経営革新事業、販路拡大事業を支援するもの。

■採択8件

テーマ	事業代表者
香川の漆器まつり 他3件	香川県漆器工業協同組合 代表理事 岡 信夫
「丸亀うちわ」技術・技法の実演事業	香川県うちわ協同組合連合会 代表理事 矢野 俊郎
産地発信による「香川のでぶくろ」の広報認知の推進事業	日本手袋工業組合 代表理事 砂川 匡
全国あかりサミット	讃岐石材加工協同組合 代表理事 漆原 憲和
さぬきの酒PR作戦	香川県酒造組合 会長 西野 信也

地域企業海外販路開拓支援事業 海外見本市出展支援

助成額等:1件につき、限度額百万円

中小企業者等に対して、海外で開催される見本市への出展を支援(会場費などを助成)するもの。

■採択3件

見本市の名称	事業代表者
ハノーバー・メッセ2009	葵機工株式会社 代表取締役 松尾 志郎
FHC CHINA 2008	株式会社八栗 代表取締役 寺田 正樹
G P E C General Police Equipment Exhibition & Conference 2008	伴仲商事株式会社 代表取締役 伴仲 義孝

産業人材育成総合支援事業 ものづくり産業人材育成助成事業

助成額等:1件につき、限度額百万円

国内で実施される人材育成研修会開催事業(中小企業等が自ら実施する人材育成のための研修事業)や人材育成研修派遣事業(中小企業等が人材育成を目的に開催される研修会へ職員等を派遣する事業)に支援するもの。

■採択12件

産業支援機関事業(財団法人かがわ産業支援財団等)

(1)職業能力育成支援事業

(2)産業人材育成総合支援事業

①経営者・後継者研修助成事業 ②高度技術人材育成事業

(3)地域企業国内販路開拓支援事業

①セールススレップ事業 採択12件 ②ビジネスマッチング促進事業 県外見本市出展支援 採択18件

(4)地域企業海外販路開拓支援事業

①国際取引支援アドバイザー設置事業 ②情報ネットワーク形成事業 ③上海見本市出展事業 ④SIAL2008出展事業

「かがわ中小企業応援ファンド事業」
に関するお問い合わせは…

(財)かがわ産業支援財団

〒761-0301 高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル
TEL 087-840-0338

中央会だより 2

FROM青年部 ～平成20年度通常総会を開催～



▲挨拶を行う石井青年部会長

6月27日、本会青年部はオークラホテル高松（高松市）において青年部会員46名と来賓多数出席のもと、平成20年度通常総会を開催しました。

石井信之青年部会長の「景気の低迷等が心配されておりますが、青年部では、趣向を凝らした運営を行い盛り上げていきます。」との挨拶の後、本会谷野克明専務理事より「先行き不透明な状況が続いておりますが、若い人たちが創意工夫で難局を乗り切っていくことを期待します。」と挨拶がありました。

その後、決算報告、事業計画、予算の審議、会則の一部改正が行われ、原案のとおりに承認されました。また、今年度は役員改選も行われ、会長には石井会長が再任されました。

議案審議後、来賓の四国経済産業局産業部長土居修身様、香川県商工労働部長濱田厚史様、香川県議会議長松本康範様より祝辞を頂きました。

引き続き、青年部顧問の鎌田守恭様の祝辞、初代青年部会長白井知之様の挨拶に続き、商工組合中央金庫高松支店長久家幸一郎様の乾杯の発声のもとに懇親会が開催されました。特別ゲストとして招待した株式会社カマタマーレ讃岐代表取締役社長熊野寛様並びに株式会社カマタマーレ讃岐専務取締役で中央会青年部OBの香西幸夫様をお迎えし、和やかな雰囲気のもと、情報交換とともに会員相互の懇親を深めました。



▲懇親会の様子

中央会だより 3

平成19年度「外国人研修・技能実習制度」不正行為認定状況を公表

法務省入国管理局は、「研修・技能実習」において、平成19年度中に「不正行為」認定を受けた機関の受入れ形態別の状況などを公表しました。

平成19年中に「不正行為」に認定した機関は449機関であり、過去最多であった前年の229機関の約2倍となりました。

これを受入れ形態別にみると、企業単独型で受け入れた機関が9機関（2.0%）、団体監理型での受入れ機関が440機関（98.0%）でした。団体監理型の受入れについて、受入れ機関別では、第一次受入れ機関が36機関（8.0%）、第二次受入れ機関が404機関（90.0%）となっています。

受入れ形態別「不正行為」認定機関数の推移

		平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年
	企業単独型	5	2	5	11	9
団体 監理型	第一次受入れ機関	11	28	17	28	36
	第二次受入れ機関	76	180	58	190	404
	計	92	210	180	229	449

香川労働局からのお知らせ

外国人雇用はルールを守って適正に!

雇入れ・離職の際の届出と適切な雇用管理は事業主の責務です。

- (1) 1.外国人労働者(特別永住者を除く)を雇用する場合、その氏名、在留資格等のハローワークへの届出が必要です。

※ハローワーク窓口への届出のほか、ハローワークインターネットサービスから簡単に届け出することも可能です。

URL <https://gaikokujin.hellowork.go.jp/gkjgs/index.jsp>

- 2.外国人労働者の雇用管理の改善等が事業主の努力義務となりました。

- (2) 厚生労働省では、外国人労働者の雇用管理の改善等に関して事業主が適切に対処するための指針を作成しています。

詳しい内容については、厚生労働省のホームページにてご確認ください。

URL <http://www.mhlw.go.jp/bunya/koyou/gaikokujin.html>

- (3) 不法就労の防止

1の届出に当たり、事業主の方が在留資格等を確認すること等により、不法就労の防止が図られます。

お問い合わせは、香川労働局職業対策課まで

香川労働局職業対策課

電話 (087) 811-8923

香川大学大学院地域マネジメント研究科からのお知らせ

香川大学ビジネススクール学生募集のご案内

香川大学大学院地域マネジメント研究科では、従来のMBAプログラムに加え、地域を的確に把握する能力を習得できるカリキュラムにより、企業や行政、NPOなどの地域の様々な場で中核となるリーダーの養成を目指しています。

平成21年度の入学試験については、試験日程を下記のとおり拡充し、学生を広く募集しています。

学生募集の概要(平成21年度)

■ 募集人員:30名

■ 検査日程

<夏期> 平成20年7月19日(土)(実施済み)

<秋期> 平成20年10月25日(土)

<冬期> 平成21年2月14日(土)

■ 出願期間

<秋期> 平成20年10月10日(金)~10月17日(金)

<冬期> 平成21年1月30日(金)~2月6日(金)

募集要項のご請求は・・・

〒760-8523 香川県高松市幸町2-1

香川大学法学部・経済学部学務第二係

電話:087-832-1813

URL: <http://www.gsm.kagawa-u.ac.jp/>

■ 所属組合 香川県室内装飾事業協同組合
■ 役職名 理事長

会社の概要



代表取締役 西浦 光

代表取締役 西浦 光
設立 昭和36年9月
資本金 1,100万円
従業員数 20人
本社 高松市扇町1丁目56番1号
TEL 087-822-3255
FAX 087-822-9496
西讃営業所 丸亀市今津町749番地14
TEL 0877-58-4171
FAX 0877-58-4172
事業内容 1.各種床材工事
2.クロス貼
3.カーテン、カーペット、敷物
4.ブラインド、アコーディオンドア
5.間仕切り工事
6.テント、シートカバー
7.リフォーム工事
8.その他室内装飾、設計施工

内装工事業（一般建設業許可）般18-985号

ホームページ <http://www.kowa8.co.jp/>



▲本社（高松市扇町）

沿革

昭和36年 9月	高松市に有限会社幸和商会を設立
昭和39年 2月	本社を松福町に移転
昭和49年 8月	本社を現在地に移転
昭和49年12月	株式会社幸和商会に改組
昭和60年12月	資本金を1,100万円に増資
昭和63年10月	代表取締役に西浦光が就任
平成13年 5月	西讃営業所を丸亀市に開設

室内装飾業界のリーダー企業

今回訪問しました株式会社幸和商会は、香川県室内装飾事業協同組合（83組合員）の加盟企業であり、代表取締役の西浦光氏は、平成6年から同組合の代表理事を務めるとともに、現在は、上部団体である全国組織・日本室内装飾事業協同組合連合会の副理事長の要職にもあります。自社経営のみならず、業界のリーダー・牽引役として幅広くご活躍中です。

室内装飾業として、住宅などのインテリア（内装）に関するお客様からのあらゆるニーズに対応し、当社は、設立から47年目を迎えています。

以下に主要な取扱品を紹介していただきました。

■FLOOR（床材）

近年の健康志向に対応した人にやさしく便利な床材が注目され様々な素材の床材が揃っています。

（コルクタイル・コルク床）

天然樹脂仕上げのコルクは、生まれながらにして備わっている天然機能をたくみに活かし、子どもからお年寄りまで全ての人に「優しさ」が伝わる、しなやかな天然建材です。

また、摩擦抵抗係数が高く、靴下での歩きやすさは、カラーフロアの約2倍、そして4,200万個/cm³という微細気泡が足に伝わる衝撃を和らげるとのことです。



▲コルクタイル（コルク床）

(竹フローリング)

フローリング材・内装材にも私たちの生活を支える強さと心地よさが求められていますが、竹フローリングは、乾留加工での自然な風合い、生活を支える強さと健康、暮らしを彩る美しさがあります。

一般住宅から病院・洗面所・トイレ等まで幅広く使用でき、日常生活での水回りに耐える撥水性を持ちスリッパ・車イスでも傷がつきにくいUV塗装仕上げです。



▲竹フローリング

(新感覚のタタミ)

タタミの姿をしながらも、タタミの欠点であるダニやカビの温床になりやすい点、使ううちにほぐれてくる表面、色が褪めてしまうという点をクリア。現代の家庭で使うことを考えて作られた機能がうれしい、人にやさしい便利な床材となっています。

■WALL (壁紙)

床材と同様に、最近の壁紙は環境や人にやさしい自然素材のものが注目されています。多機能でデザイン的にも美しい壁紙の一部をご紹介します。

(アパタイトかべ紙)

和紙をベースに新開発の光触媒アパタイトをコーティングした壁紙クロスです。化学系溶剤は一切使用していません。アパタイトは、歯磨き粉やガムにもよく添加されています。また、優秀な環境浄化剤として、健康被害をもたらすホルムアルデヒドやVOCその他のシックハウスの原因物質を強力に吸着する能力に最近注目が集まっています。

(珪藻土かべ紙)

室内の湿気を調節、部屋の空気を清浄・活性化させ、快適な居住空間を実現する壁紙。

珪藻土が持つ1ミクロンにも満たない無数の小さな

孔(多孔質「木炭」の数千倍)で、湿気をコントロール。湿度が高くなると室内の湿気を吸収。逆に、低くなると湿気を放出し、室内湿度を約60～70%に保とうとします。

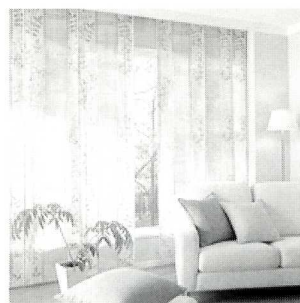


◀珪藻土を使った壁紙

■CURTAIN (カーテン)

柔らかく窓辺で揺れ、時に光を遮り穏やかな明るさを室内に満たしてくれるカーテン。

豊富なデザインは、部屋のデザインとしても目を惹きます。パネルカーテン(すだれタイプ、レールタイプ)、ペアシードなどデザインや目的に合ったカーテンを提案いただけます。



◀パネルカーテン(レールタイプ)

今後の抱負

私ども株式会社幸和商会は、創業以来、インテリアに関する専門業者として、お客様の様々なご要望に的確にお応えするとともに、「価格・施工面に安心・満足できる店」をモットーに経営努力してまいりました。

お客様からのご相談にはインテリアコーディネーターが最適なプランをご提案し、施工にあたっては、資格を持ったプロ集団が責任をもって仕上げてまいりますのでインテリア、リフォームに関することは何でも全て安心してお任せ下さい。

弊社は、今後とも、全社員が、一丸となって、3つの企業指針(心身健全、創意実践、能力錬磨)のもと、お客様の「健康に心からくつろげる住まいづくり」のパートナーとして邁進してまいります。

当業界においても、個々の企業が切磋琢磨し、経営各般に不断のレベルアップを図り、一層の信用力向上、業界の発展につなげてまいりたいと存じます。

現場に即した日本語の習得と 日本語能力試験受験に向けた 日中のチームワーク

オカモト株式会社 静岡工場

今回訪問させていただいたオカモト(株)静岡工場(以下、同社)は、静岡県ほぼ中央に位置する大井川のほとりの広大な敷地に展開し、プラスチック製品製造を業としています。正門をくぐると建物および工場までの広々としたエントランスが印象的です。訪問当日は、残念ながら見ることはできませんでしたが、天気が良いと富士山が背後に見え、来日した研修生・技能実習生にも好評だそうです。工場のわきでは、フォークリフトが出来上がった製品を搬送中でした。同企業はISO14001を取得し、環境マネジメントにも積極的に取り組んでいます。東京にある本社は、香港に貿易部門を置いており、中国とは長い付き合いの実績があります。研修生・技能実習生たちは、同社静岡工場から1キロ以内の距離にある寮より自転車で会社に通いながら、プラスチック成形を学んでいます。

当日は、静岡工場統括マネージャーの西村氏、総務人事課の伊藤氏にお話をお伺いすることができました。同社では、特に研修生・技能実習生の安全に配慮しており、関東通信事業協同組合の集合研修終了後、配属された研修生に対して、二手に分かれて日本語教育を行っています。総務人事課が日本語の基礎教育を引き続き行い、配属された現場部門が安全に関する日本語教育を行っています。「特に、安全に関する分野では日本語の理解力を100%に近づけないと。慣れるまでは絶対に危険な作業はさせません。」と西村氏。安全作業ルールを徹底させ、現場の状況とマニュアルを対比しながら、根気強く説明を行っています。この姿勢が、研修生・技能実習生の気持ちを引き締めるのだと思います。

日中間で使用する機械が異なるため、まず機械に触れることからスタートし、慣れた頃から徐々に作業をレベルアップさせています。研修生・技能実習生の中には、日本人とレベル的に大差のない技量を持つ人もいますが、わからないところは質問するという習慣がないようです。よってわからないことを日本語で質問できることが重要になってきます。

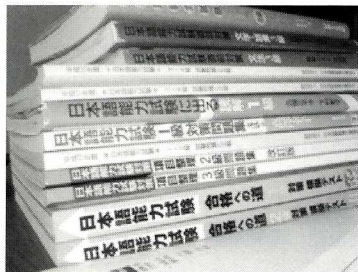
研修生・技能実習生は、同社の管理人が常駐している寮に滞在しており、トイレ・風呂は共有ですが、一人一部屋を与えられ、

自炊しています。来日当初は、寮の規則を徹底するのが難しいようで、ゴミの分別などを当番制で行っていますが、なかなか分別しきれないそうです。問題を発見した場合は、その都度注意をするようにしており、企業と研修生・技能実習生が合同で定期的にパトロールも行っています。テレビは、寮の共用ルームに1台設置し、中国の放送も受信できるようになっていますが、技能実習生になると自室にテレビやパソコンを設置する人もいます。昨今、日本の若い世代のマナーの乱れが指摘されていますが、「研修生・技能実習生は、皆、日本人以上に丁寧な挨拶ができる青年たちばかり。」とのことでした。

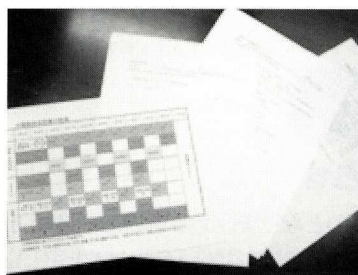
日本語の学習には、(1)技術・技能の円滑な移転のためには欠かせない、(2)現場の安全確保のために欠かせない、(3)滞日中に目標を持たせる、という趣旨で力を入れています。全員を対象に、日本語能力試験受験を奨励しています。受験料は、組合と企業で半分ずつ負担しています。受験級としては、研修生は4級、技能実習1年目は3級、技能実習2年目は2級が目標です。12月の受験日に向けて9月から週に1回の勉強会を開催しています。市販の教材を参考にしながら同社が作成したオリジナルの教材を使い、文法、読解、語彙の講義とヒアリング、小テストを行っています。研修・技能実習中は日本語を使うので、研修生・技能実習生にとって会話は問題ないそうですが、文法などの学習は難しく、教える側も普段、何気なく使用している日本語を理論的に説明するのは難しいそうです。勉強会では、日本人社員が辞書を調べながら身振り、手振りで説明すると、わかった者がそれを中国語で仲間に説明していくという日中のチームワークとなっています。がんばる研修生・技能実習生がいると、自然に勉強会全体が引っ張られていくそうです。上位級を目指す者になると、やはりやる気と集中力が違い、質問も多くなります。もちろん日本人社員も中国語の学習に努めています。結果として、過去2年間に2級合格者2名、3級合格者11名を輩出しています。上記のような支援体制があっても、研修や技能実習を続けながらの受験および合格は、本人および同社の並々ならぬ尽力の賜物と思われます。

上記以外に、日本語の学習を徹底して良かったことは、(1)現場では機械の音などにより、必然的に指導員の指導の声が

大きくなるので、指導員が言っている内容がわかれば、研修生・技能実習生たちは怒鳴られていると感じることもなく、感情的なしこりを残すことがない、(2) 指導員からの指導に対して、わからない場合は質問することができる、などだそうです。



山と積まれた参考資料



勉強会のスケジュール・
講義内容

日本語能力試験の受験会場は静岡大学であるため、高速バスを利用し、同社の社員が引率しています。ある年などは、受験する研修生・技能実習生全員が乗った結果、高速バスが満員になってしまい、その後のバス停はすべて通過となってしまったそうです。昨年は28人が受験しました。取材時点では、今年は43人が受験する予定なので、引率も2回に分けて行う予定とのことでした。また、会場は食事には不便なので、昼休みには引率者が全員を集めて弁当を配布することにしています。同社では、日常生活、現場での安全指導から日本語習得まで誠に細やかな配慮をされており、敬服の至りです。



マネージャーの西村氏(右)と伊藤氏

日を改めて、受入れ団体となる関東通信事業協同組合の代表理事である平田氏、担当者の山田氏にお話をお伺いしました。

同組合では、来日前の事前研修や選抜も重視し、いくつかの送出し機関と協力関係がありますが、特に大連の送出し機関を評価しているそうです。この送出し機関は、来日前に全寮制で3ヶ月間、300時間の事前研修を行っており、カリキュラムは日本語と日本事情となっています。日本語は研修・技能実習の知識習得のための手段となるので、ヒアリングを中心に行い、レベル的には日本語能力試験4級を目処に特訓しています。また、全寮制ということで、集団生活の適不適を判断することができ、そのことが、同組合および受入れ企業が訪中して、選抜を行う際の重要な判断要素となっています。同組合は、選抜を、(1) 本人の来日の目的が明確であり、来日後の経験を将来にどのように生かすかという意志を有していることを見極める、(2) 日本側として来日の目的を理解させる機会、と位置づけています。選抜時には、同組合が人間性を、受入れ企業が技術・技能を重視して試験を行い、最終的には送出し機関も含めて調整することとしています。

来日後の集合研修では、都内の公的施設を利用し、日本語、日本事情、日本企業の考え方などを説明します。特に、「何故、今日の日本があるのか」、また受入れ先の状況や社内規則なども詳細に説明しています。来日する研修生・技能実習生はまだ若く、甘えもあります。「組合は、彼らの帰国後の人生も考慮しながら、客観的な状況を正確に伝え指導することを旨とし、受入れ企業が、研修生・技能実習生を喜ばせるようなことをするという役割分担をとっています。」という平田氏のお話は印象的でした。また、受入れ企業配属時に、日本語学習のためのオリジナルの参考書を渡すとともに、その後も通信教材を送付し続け、添削のやりとりを行うそうです。

受入れ企業を巡回する際には、研修が計画どおりに進んでいるか、本人が研修に意義を感じているかどうかを中心に、研修実態の把握に努めているそうです。今後は、日本語教育について短時間でより効果的に行うために、来日後の集合研修時に教育を担当している日本語講師を中国に派遣し、中国側の日本語教師と打ち合わせを行い、一層の連携に努める予定です。

お話をお伺いし、研修・技能実習制度の趣旨および意義を的確にとらえ、日々、前向きにご尽力されている代表理事や組合の皆さんの凛とした姿勢に、当方も身が引き締まる思いでした。

このコーナーの事例は、(財)国際研修協力機構発行の

「2006年版 外国人研修・技能実習に関する成果事例集」よりご紹介しています。

<内容についてのお問い合わせ先> (財)国際研修協力機構 総務部 企画調整課 Tel.03-6430-1104

商工中金だより

「中央会推薦貸付制度」のご案内

●貸付制度の概要

貸付対象者	香川県中小企業団体中央会ならびに当公庫が定める支援対象テーマ(※)に取組む組合・組合員で、香川県中小企業団体中央会から推薦された者
資金使途	設備資金、運転資金
貸付限度	100百万円(貸付金額は当金庫所定の審査によります)
貸付利率	当公庫所定の貸出利率-0.3%(固定金利) ただし、貸出期間5年超については、長期プライムレートを下限とします。
貸付期間	当金庫所定の審査によります
担保	当金庫所定の審査の結果、必要となる場合があります
保証人	(組合へのご融資の場合)原則、組合役員 (組合員へのご融資の場合)原則、代表者1名
期限前返済	可能です。ただし、期限前返済手数料が発生する場合がございます

当公庫の審査の結果で融資できない場合もございます。(審査の結果につきましては、直接お申込人に回答いたします。)

※具体的な支援対象テーマ

- ☐ 新設組合支援
- ☐ 女性・子育て支援
- ☐ ものづくり支援
- ☐ 環境対策支援
- ☐ 地域資源活用支援(農工商連携を含む)
- ☐ BCP支援

【お問い合わせ先】

商工組合中央金庫 高松支店

〒760-0052 高松市瓦町1-3-8

TEL 087-821-6145 FAX 087-851-6074

中小公庫だより

貸付利率のお知らせ

平成20年7月11日より、当公庫の貸付利率が改定され、下記の通りとなりましたのでお知らせいたします。

なお、下記掲載は貸付制度の一部ですので、詳しくは中小公庫までお気軽にお問い合わせください。

融資制度	融資限度額	融資利率	特別利率限度額	融資期間(最長)	融資制度	融資限度額	融資利率	特別利率限度額	融資期間(最長)
一般貸付	4億8千万円 (うち運転資金 2億4千万円)	基準利率	—	設備 10年 運転 5年	地域活性化・ 雇用促進資金	7億2千万円	基準利率 特別利率①②③ (③-0.4)	4億円	設備 20年 運転 7年
新事業育成資金	6億円	基準利率 特別利率③	6億円	設備 15年 運転 7年	環境・エネルギー 対策資金	7億2千万円	基準利率 特別利率①②③	4億円	設備 15年 運転 7年
新事業活動促進資金	7億2千万円	基準利率 特別利率①③	2億7千万円	設備 20年 運転 7年	社会環境対応施設 整備資金	7億2千万円	基準利率 特別利率②	2億7千万円	設備 15年
IT活用促進資金	7億2千万円	基準利率 特別利率①③	2億7千万円	設備 15年 運転 7年	事業再生支援資金	7億2千万円	基準利率+2.5% 基準利率+1.0%	—	設備 10年 運転 5年
企業活力強化資金	7億2千万円	基準利率 特別利率①③	2億7千万円	設備 20年 運転 7年	企業再建・事業承継 支援資金	7億2千万円	基準利率+0.3% 特別利率①	2億7千万円	設備 20年 運転 10年
海外展開資金	2億5千万円	基準利率	—	設備 15年	再挑戦支援資金	7億2千万円	基準利率 成功払い型金利	—	設備 15年 運転 7年

(※) 同一貸付でも、担保などの該当要件や貸付期間により、適用利率が異なります。

融資制度の詳細は、中小企業金融公庫HPをご覧ください。

<http://www.jasme.go.jp/>

【お問い合わせ先】 中小企業金融公庫高松支店

〒760-0023 高松市寿町2-2-7 COI高松ビル3階

TEL 087-851-9141 FAX 087-822-1423

国民公庫だより

新しく事業を始められる方へ

	融資限度額	金利	返済期間
新たに事業を始める方や事業開始後おおむね5年以内の方 新規開業資金	7,200 万円	2.55%~	(運転) 5年以内 (設備) 15年以内
女性または30歳未満か55歳以上の方で、 新たに事業を始める方や事業開始後おおむね5年以内の方 女性、若者／シニア起業家資金	7,200 万円	2.2%~	(運転) 5年以内 (設備) 15年以内
上記の融資制度を利用される方で、保証人を依頼することや 担保を提供することが困難な方 新創業融資制度	1,000 万円	適用金利 +1.2%	(運転) 5年以内 (設備) 7年以内

* 金利は平成20年7月11日現在のものです。適用金利はお使いみち、
ご融資期間により変わります。

上記以外にも業種やお使いみちに応じて、いろいろな融資制度がございます。
詳しくはお気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先

国民生活金融公庫 高松支店(お申込相談)

〒760-0023高松市寿町2-2-7 COI高松ビル2F

TEL .087(851)0198 FAX.087(822)9274

ホームページアドレス <http://www.kokukin.go.jp/>

1日	都道府県振連職員講習会～2日	(リーガホテルゼスト高松)
2日	かがわIT経営応援隊推進委員会(第1回)	(香川産業頭脳化センター)
3日	都道府県中央会指導員等講習会管理者研修～4日	(東京都)
	香川県の健康保険事業に関する懇談会	(ホテルニューフロンティア)
	農商工連携フォーラム	(東京都)
	中小企業庁 研修生受入組合視察	(瀬戸内食品加工協同組合)
8日	都道府県中央会指導員等講習会第1回指導員研修～9日	(東京都)
11日	香川地域若年者雇用問題検討会議	(香川労働局)
14日	香川県小規模企業共済制度特別加入促進運動加入促進協議会	(香川県庁)
15日	農商工連携フォーラムin香川	(サンポートホール高松)
16日	高松市地域創業支援協議会	(高松市役所)
18日	独立行政法人雇用・能力開発機構運営協議会	(香川職業能力開発促進センター)
	組合等Web構築支援事業委員会	(高松青果物商業協同組合)
	香川県地域ジョブカード運営本部委員会	(高松商工会議所会館)
20日	樋口浩良氏旭日小綬章受章祝賀会	(高松国際ホテル)
22日	産業雇用安定センター経済団体等情報交換会議	(オークラホテル高松)
23日	香川県共同募金会評議員会	(香川県共同募金会)
24日	中央会指導員等研究会(四国ブロック施策普及研究会)	(徳島県)
25日	かがわ産業振興クラブ講演会	(全日空ホテルクレメント高松)
	外国人研修生受入れ団体中央・地方連絡協議会全体会議	(東京都)
	ITコーディネータワークショップ四国地域会議	(e-トピアかがわ)
27日	香川県食肉事業協同組合連合会通常総会	(リーガホテルゼスト高松)
29日	本会青年部正副会長会	(本会)
	設備資金助成審査委員会	(香川県庁)
30日	官公需確保対策地方推進協議会	(四国経済産業局)
31日	四国地区中小企業団体中央会事務局代表者会議	(高知県)

8月8日北京オリンピック開幕

今月開催のオリンピックですが、全日本男子バレーボール監督植田辰哉氏は手袋の産地である東かがわ市出身です。7月7日には社行会が開催され、東かがわ市商工会青年部から選手全員に「手袋型の必勝お守り」がプレゼントされました。

16年ぶりにオリンピック出場に導いた植田監督の活躍を期待します。

また、中央会初代青年部副会長でありました大谷治氏(青島加ト吉食品有限公司董事長総経理)は、日本人でただ1人中国青島にて7月21日聖火ランナーを務めたようであり大変喜ばしい出来事です。

BOOK RANKING 県内ベストセラー



順位	書名	著者	出版社/定価
1	ハリー・ポッターと死の秘宝 上・下	J・Kローリング 松岡佑子 訳	静山社/3,990円
2	AB型自分の説明書	Jamais Jamais	文芸社/1,050円
3	悩む力	姜尚中	集英社/714円
4	マルグリートの輪舞曲	茅田 砂胡	中央公論新社/945円
5	空海の世界「四国名刺」	桜井 恵武	明報社/10,500円※

※期間限定特別価格
香川県書店商業組合調べ